

『外国人留学生向け企業訪問交流会』 多様な人材の雇用支援事業（拡充）

事業背景

- 1 少子高齢化やグローバル化が進む中、地域経済の持続的発展のための一つの方策として外国人雇用がある
- 2 高度な技術、知識等を持った外国人材の雇用について、市内企業におけるニーズがある
- 3 日本で働きたい外国人留学生が市内企業の事をよくわからない
- 4 外国人材雇用についての正しい知識や制度変更点について市内企業に周知を図る必要がある

新規事業内容

【外国人留学生向け企業訪問交流会】

日本で就職したい留学生（大学生・専門学校生）を対象に、外国人材が活躍している市内企業の職場体験、現在働いている外国人従業員の講話などの企業交流会を実施し、留学生と市内企業とのネットワーク構築を支援する。
対象：留学生（15名程度）及び市内企業（2社程度）

【特定技能に特化した外国人雇用支援セミナー（2回程度開催）】

市内企業を対象に、新たに創設された在留資格「特定技能」について、制度の内容や技能実習生からの切り替え、最新の状況などを解説するセミナーを実施する。
対象：市内企業担当者（50名）

【当初予算額】

外国人材雇用支援事業委託料等 1,000千円
※企画立案、事業周知、企業・留学生募集、当日の運営にかかる経費

めざすべき方向性（新規事業の目的）

- ・セミナー及び交流会を通じて、市内中小企業が高度な技術・知識等を持った外国人留学生を採用し、経営基盤強化につなげること
- ・市内大学等に在籍する外国人留学生の安定雇用